

認知過程の統計的特性

石口 彰 / ISHIGUCHI, Akira

文教育学部人間社会科学科

■専門分野 実験心理学
■キーワード 認知、計算、情報

連絡先

研究内容

■概要（背景・目的・内容）

■応用・将来展望

認知過程の統計的特性に関連して、人間が如何に多様性を認知するかを、基本メカニズムから、発達の、文化的側面にまで拡張することを計画している。

■活動実績

- ・最高裁判所、家庭裁判所調査官試験委員会、委員等・その他（政府・公共機関）、2012.10-
- ・石口 彰、「制御不能イベントと認知行動」、2012
- ・「制御不能イベントと認知行動」、2011
- ・「制御不能イベントと認知行動」、2013
- ・「制御不能イベントと認知行動」、2014
- ・基礎心理学研究（日本基礎心理学会）、委員、2009.04-
- ・日本基礎心理学会、理事、1999.04-
- ・認知科学（日本認知科学会）、委員、2010.06-
- ・基礎心理学研究（日本基礎心理学会）、その他、2012.04-
- ・日本心理学会、その他、1997.06-2013.05
- ・日本基礎心理学会、理事、1999.04-
- ・日本基礎心理学会、編集委員、2009.04.01-
- ・日本基礎心理学会、常任編集委員、2012.04-

主要研究成果

- ・（日本語）、石口 彰、3章 推論、『認知心理学演習：言語と思考』、オーム社、2012.04
- ・（日本語）、石口 彰、2章 問題解決、『認知心理学演習：言語と思考』、オーム社、2012.04
- ・（日本語）、石口 彰、5章 認知行動とベイズ推論、『認知心理学演習：日常生活と認知行動』、オーム社、2012.02
- ・（日本語）、『認知心理学演習：視覚と記憶』、オーム社、2012.01
- ・ TOKITA Midori, ISHIGUCHI Akira, 「Behavioral evidence for format-dependent process in approximate numerosity representation」, Psychonomic Bulletin & Review, 2012.02
- ・ TOKITA Midori, ISHIGUCHI Akira, 「Temporal information affects the performance of numerosity discrimination: Behavioral evidence for a shared system for numerosity and temporal processing」, Psychonomic Bulletin & Review, 2011.06
- ・（英語）、TOKITA Midori, ISHIGUCHI AKIRA, 「Is approximate numerical judgment truly modality-independent?: Visual, auditory, and cross-modal comparison.」, Attention, Perception, & Psychophysics, 75 巻、1852-1866 頁、2013
- ・（英語）、TOKITA Midori, ISHIGUCHI Akira, 「Effects of perceptual variables on numerosity comparison in 5-6-year-olds and adults.」, Frontiers in Psychology, 4 巻、431 号、1-11 頁、2013
- ・（英語）、TOKITA Midori, ISHIGUCHI Akira, 「Comparing global and limited sampling strategies in size-averaging a set of items.」, Proceedings of the 36th Annual Conference of the Cognitive Science Society, 75 巻、1604-1609 頁、2014.07